

英単語の方程式（2）

瀬 谷 廣 一

凡例

1. 記号

[] = 発音記号, 言い換え

() = 省略

< > = アルファベット

→ = 意味の変化, 派生関係, 単語の変遷など

[] = 本来の語義

φ = 0 (ゼロ)

2. 品詞略語一覧

a. = adjective 形容詞

ad. = adverb 副詞

cf. = confer 参照

conj. = conjunction 接続詞

n. = noun 名詞

p. = past 過去

pl. = plural 複数

pp. = past participle 過去分詞

pref. = prefix 接頭辞

prep. = preposition 前置詞

pron. = pronoun 代名詞

sing. = singular 单数

suf. = suffix 接尾辞

v. = verb 動詞


11. 子音の削除 (Consonant deletion)

形態素間にまたがる重複子音や子音群はしばしば一定のルールにしたがって単純化される。接頭辞 **ex**[eks]- と [s] で始まる語根の接続に見られる, 2つの [s] が一つの [s] になる例がその典型である。自然な発音の求めに沿って, 余分な子音が削除される働きといえる。

(1) [s] の削除

1). 〈ex- + s〉 [eks- + s] の場合

* ex-「外へ, ...から, すっかり」

$$\langle \text{eks-} \rangle + [\text{s}] \rightarrow [\text{eks-}] + [\phi]$$


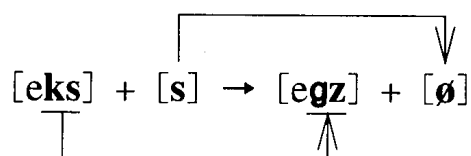
e	x-	[ek	s]	外に	
+	s	pire	[s	páíər]	息をする
<hr/>						
expire		[ekspáíər] v. 息を吐き出す, (期限が) 切れる				

e	x-	[ek	s]	すっかり	
+	s	tinguish	[s	tíŋgwɪʃ]	消す
<hr/>						
extinguish		[ekstíŋgwɪʃ] v. (火などを) 消す				

e	x-	[ek	s]	外に	
+	c	el	[s	él]	突出する, 秀でる
<hr/>						
excel		[eksél] v. ... にまさる, 優れる				

[注] **ex-**の **[ks-]** は **[gz-]** に変わることもある。これは、第1音節にストレスがなく、**[ks-]** の **[s]** が **[z]** になることによって、**[s]** の前の **[k]** が有声音化して **[g]** になる現象である。

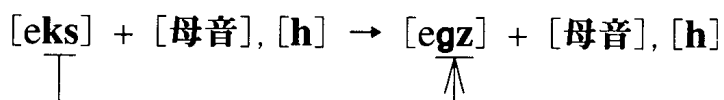
1. **<ex-> + [s]** の場合



	e x-	[e ks]	すっきり
+	s ult	[s ált]	跳びはねる
<hr/>				
	exult	[egz ált]	v. 大喜びする

	e x-	[e ks]	外に
+	s ample	[s áemple]	取り出す
<hr/>				
	example	[egz áemple]	n. 例, 手本, 見本

2. **<ex-> + [母音], [h]** の場合



	e x-	[e ks]	外に
+	a ggerate	[æ dʒəreit]	積み上げる
<hr/>				
	exaggerate	[ekz áedʒəreit]	v. 誇張する

	e x-	[e ks]	外に
+	a lt	[ó:lt]	高い
<hr/>			
	exalt	[egz ó:lt]	v. 賛美する, (品位などを) 高める

	e x-	[e ks]	外へ
+	h aust	[h ó:st]	くみ出す
<hr/>			
	exhaust	[egz ó:st]	v. 疲れさせる, 使い果たす, 排気する

	e x-	[e ks]	すっかり
+	h ilarate	[h íløreit]	陽気にする
<hr/>			
	exhilarate	[egz íløreit]	v. ... を陽気にする

3. [s] は削除されているが, 語根の綴りをそのままに残している語もある。近代ラテン語からの借用語に見られる。

	e x-	[e ks]	外に, 離す
+	s ect	[sek t]	切る
<hr/>			
	exsect	[eks ékt]	v. 切り除く (cut off)

	e x-	[e ks]	すっかり
+	s iccate	[s ikeit]	乾かす
<hr/>			
	exsiccate	[éks ikeit]	v. 乾燥させる

4. **ex**が、ハイフンをつけて「前」の意味で用いられるときや前置詞として用いられるときには、[s]の削除は生じない。

1) **ex-** 「前」

ex-husband	n. 前夫
ex-president	n. 前大統領 [会長, 社長]
ex-senator	n. 前上院議員
ex-serviceman	n. 退役軍人

2) **ex** (prep.) 1 ...落ち；...なし

2...渡し

3...年度卒業クラス中退の

ex bonus	特別配当落ち
ex interest	利落ち
ex dividend	配当落ち
ex dock	波止場渡し
ex pier	棧橋渡し
ex rail	鉄道渡し
ex 2000	2000年度クラス中退の

2). 〈**dis-**, **trans-** + [s]〉 [**dis-**, **træns-** + s] の場合, **dis-**, **trans-** の場合も, 続く語根が [s] で始まるときには, [ss] は [s] となる。

$$[\text{dis, træns}] + \underset{\text{[s]}}{\boxed{\text{s}}} \rightarrow [\text{dis, træns}] + \underset{\text{[ø]}}{\boxed{\text{ø}}}$$

・ **dis-** 「不, 非, 反対; 分離, 除去, 隔離」

	di s -	[di s]	分けて
+	s perse	[s pə:rs]	撒く
<hr/>			
	disperse	[dispé:rs]	v. 散らす, 普及させる

	di s -	[di s]	離れて
+	s tant	[s tənt]	立つ
<hr/>			
	distant	[dístənt]	a. 遠い, 離れた

[s] は削除されているが, 語根の綴りではそのままの語もある。

	di s -	[di s]	分けて
+	c ern	[s ə:rn]	区別する
<hr/>			
	discern	[disé:rn]	v. はっきり認める

	di s -	[di s]	離れて
+	s uade	[s weid]	説得する
<hr/>			
	dissuade	[diswéid]	v. [説得して離す→] 思いとどませる

[注] 米語では, **dis-**が「否定」の意味を表すとき, 上記のルールは当てはまらない。

	di s -	[di s]	... しない
+	s atisfy	[s ætisfai]	満足させる
<hr/>			
	dissatisfy	[dissætisfai]	v. 不満をいだかせる

	di s -	[di s]	... でない
+	s imilar	[s ímələɾ]	似ている
<hr/>			
	dissimilar	[dissímələɾ]	a. 似ていない

・ **dis-** は、〈g, v, l, r, m〉で始まる語根を従えるとき、その [s] を消失する傾向がある。

	di s -	[di s]	分かれて
+	g est	[dʒést]	運ぶ
<hr/>			
	di(ø)gest	[di(ø)dʒést]	v. 消化する, 理解する

	di s -	[di s]	離れて
+	g ress	[grés]	行く
<hr/>			
	di(ø)gress	[di(ø)grés]	v. 本筋から離れる

	di s -	[di s]	離れて
+	v ert	[vé:rt]	向ける
<hr/>			
	di(ø)vert	[di(ø)vé:rt]	v. 他にそらす

	di s -	[di s]	離れて
+	l ute	[lú:t]	洗う
<hr/>			
	di(ø)lute	[di(ø)lú:t]	v. 薄める

	di s-	[di s]	離れて
+	r ect	[r ékt]	支配する
<hr/>			
	di(ø) rect	[di(ø) r ékt]	a. まっすぐな, 直線の, ad. まっすぐに, 直接に v. 指導する, 指揮する, 命じる

	di s-	[di s]	離れて
+	m ension	[m énʃən]	測ること
<hr/>			
	di(ø) mension	[di(ø) m énʃən]	n. 寸法, 容積, 規模

・ **dis** [dis]- の [s] は, 次に来る有声音の影響で [z] となることがある。

	di s-	[di s]	... がない
+	e ase	[í: z]	安楽
<hr/>			
	disease	[diz í: z]	n. 病気, 悪弊

	di s-	[di s]	離れて
+	a ster	[æ stər]	(幸運の) 星
<hr/>			
	disaster	[diz æ stər]	n. 災害, 不幸, 全くの失敗

	di s-	[di s]	... がない
+	d ain	[d éin]	価値づける
<hr/>			
	disdain	[diz d éin]	v. 軽蔑する

・ **trans-** 「越えて，向こう側へ；貫いて；別の状態へ」

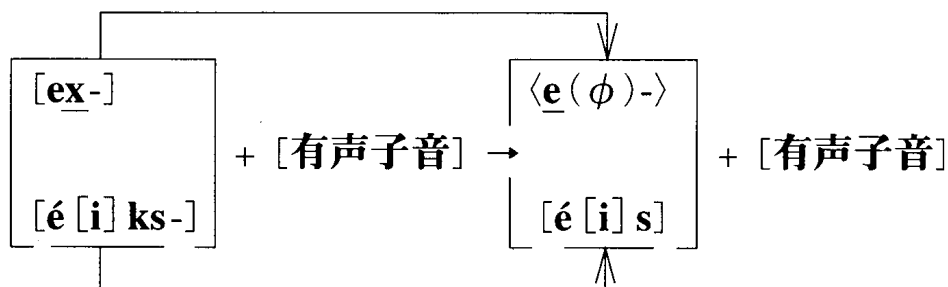
	tran s-	[træn s]	他の側に
+	s cribe	[s kraib]	書く
<hr/>			
	transcribe	[trænskraib]	v. 書き写す，音標文字で書く

	tran s-	[træn s]	越えて
+	s cend	[s énd]	登る
<hr/>			
	transcend	[trænsénd]	v. 超越する

	tran s-	[træn s]	貫いて
+	s pire	[s páíər]	呼吸する
<hr/>			
	transpire	[træns páíər]	v. 判明する，（秘密などが）漏れる

12. ex[eks]- 「(...から) 外に [へ]」の〈x〉消失

ex-[eks] が有声子音で始まる語根を従えるとき，〈**ex-**〉の〈**x**〉は消失する。これは，英語では [-ksdʒ-]，[-ksl-]，[-ksr-]，[-ksg-] などの [-ks + 有声子音] の音素配列は許されないからである。



	e x-	[i ks]	外へ
+	b ulient	[b áljənt]	ほとばしる
<hr/>			
	e(ø)bulient	[i(ø)báljənt]	a. (情熱などが) ほとばしる

	e x-	[é ks]	外へ
+	d ucate	[d ʒukeit]	導く
<hr/>			
	e(ø)ducate	[é(ø)dʒukeit]	v. 教育する

	e x-	[i ks]	外へ
+	g est	[d ʒést]	運ぶ
<hr/>			
	e(ø)gest	[i(ø)dʒést]	v. ... を排泄する

	e x-	[i ks]	外へ
+	j ect	[d ʒékt]	投げる
<hr/>			
	e(ø)ject	[i(ø)dʒékt]	v. 追放する, (機械などが物を) 吐き出す

	e x-	[i ks]	外に
+	l ect	[lékt]	選び出す
<hr/>			
	e(ø)lect	[i(ø)lékt]	v. 選挙する, 選ぶ

	e x-	[é ks]	外へ
+	m igrate	[m əgreit]	移動する
<hr/>			
	e(ø)migrate	[é(ø)məgreit]	v. 移住する, 移民する

	e x-	[i ks]	離れて
+	r ase	[reis]	こすり消す
<hr/>			
	e(ø)rase	[i(ø)réis]	v. 拭い消す, 削除する

	e x-	[é ks]	... から
+	v ident	[vidənt]	見える
<hr/>			
	e(ø)vident	[é(ø)vidənt]	a. 明白な

13. 〈n〉の消失 (n-drop)

〈n〉の消失は否定を表す接頭辞 **an-**, 不定冠詞の **an** の 〈n〉 に適応するルール。 **an** の 〈n〉 は子音で始まる語根, 不定冠詞の場合には子音で始まる語の前で消失する。

an- [ない] + 「子音」 → **a(φ)** + 「子音」

└──────────────────┘

an [一つ] + 「子音」 → **a(φ)** + 「子音」

└──────────────────┘

[注] an <OE.an = one 「1」

	a n-	[æ n]	... がない
+	ch romatic	[k roumætik]	色彩のある
<hr/>			
	a(ø)chromatic	[æ(ø)kroumætik]	a. 無色の, 色消しの

	a n -	[æ n]	... がない
+	m oral	[m é:rəl]	道德の
<hr/>			
	a (ø) m oral	[æ(ø) m é:rəl]	a. 道德意識のない

	a n -	[æ n]	... がない
+	p athy	[p əθi]	感情
<hr/>			
	a (ø) p athy	[æ(ø) p əθi]	a. 無感覚, 無感動

・母音または [h] の前では, **an**-の **n** は消失しない。

an ecdote	公表された. → 「公表されていない」	→ 逸話
an onym	名前. → 「名前のない」	→ 偽名, 匿名, 変名
an harmonic	調和のある → 「調和のない」	→ 非調和の
an hydrous	水を含む → 「水を含まない」	→ 無水の

ほとんどの辞書では, 不定冠詞の用法について, 「子音で始まる語の前では **a**, 母音で始まる語の前では **an** を用いる」と記載されているが, 歴史的には, 不定冠詞の **an** は子音の前ではその **-n** が消失して, **a** となったということである。

a n e gg	[eg]	1 個の卵
a n h our	[auər]	1 時間
a n M . P .	[émpí:]	下院議員

a n b	ook [búk]	→	a b	ook	1冊の本
a n l	arge [la:rdʒ] house	→	a l	arge house	大きな家
a n u	niversity [ju:nəvɛ:rsəti]	→	a u	niversity	大学

[注] [h] で始まる語でも最初の音節にアクセントがないときは, **an** となるときもある。

a(n) ho	·tél	ホテル
a(n) his	·tór·i·cal place	由緒ある場所

14. con- のn消失

con-に続く語根が, 母音または [h] で始まるときには, **con-**の **n**は消失する。

con- + [母音, h] → **co-** + [母音, h]

co	n-	共に
+	a gulate	凝固させる, 凍らせる
co(ø)agate		v. 凝結させる

co	n-	共に
+	o perate	仕事をする
co(ø)operate		v. (仕事などで) 協力する

	co	n-	共に	
+		h	erent	密着している
<hr/>				
	co(ø)		herent	a. くっついた, 筋の通った

[注1] 語根 **gn** 「生まれた」, 「知る」の前でも **con-**は**co-**となる。

	co	n-	共に	
+		gn	ate	生まれた
<hr/>				
	co(ø)		gnate	a. 同族の, 同系 [同質, 同種] の

	co	n-	共に	
+		gn	itive	知覚する
<hr/>				
	co(ø)		gnitive	a. 認知の, 経験的知識に基づく

[注2] [母音] に始まる語根の前では, **con-**は不安定で **con-**, **co-**の2通りがある。

	co	n-	共に	
+		ven	ient	来る
<hr/>				
	con		venient	a. 好都合な, 便利な

	co	n-	共に	
+		ven	ant	来る
<hr/>				
	co(ø)		venant	n. 契約, 約束, 誓約

15. syn-のnの消失

syn-の後に [s] で始まる語根がくるとき, syn-のnは消失する。発音がしやすくなるからである。

$$\text{syn-} + [\text{s}] \rightarrow \text{sy}(\phi)\text{-} + [\text{s}]$$

+	sy	n-	共に
		s	立てる, 据える
		tem	
<hr/>			
	sy(ø)	stem	n. 組織, システム, 体系

16. 母音の消失 (Vowel drop)

英語では母音接続, すなわち, 母音で終わる音節 [語] と母音で始まる音節 [語] とのあいだの途切れは嫌われる。この母音接続を避けるメカニズムが母音の消失である。発音する際の容易さを確保するメカニズムと言える。

$$\left[\begin{array}{l} \diamond \cdot [\text{母音}] (= \text{第2音節の無強勢母音}) + [\text{母音}, \text{h}] - \\ \downarrow \\ \diamond \cdot [\emptyset] + [\text{母音}, \text{h}] - \end{array} \right] \quad (\diamond = \text{第1音節})$$

	di	a-	[dai	ə] ... を通じて
+		o	rama	[əræmə] 景色
<hr/>					
	di(ø)	orama	[dai(ø)	əræmə]	n. ジオラマ

	ho·m	o-	[hám	ə] 同じ
+		o nym	[ə nim] 名前
<hr/>					
	hom(ø)	onym	[hám(ø)ənim] n. 同音異義語

	tel·	e-	[tél	i] 遠い
+		e x	[e ks] 交換
<hr/>					
	tel(ø)	ex	[tél(ø)eks] n. テレックス

	met·	a-	[mé	tə] 後に
+		h od	[h od]	道
<hr/>					
	met(ø)	hod	[méθəd] n. (道を追う→) 方法

	ep·	i-	[ep	i] ... (の上) に
+		h emera	[h émərə]	1 日
<hr/>					
	ep(ø)	hemera	[efémərə] n. カゲロウ

[注 1] an·ti-, i·so-, ma·cro-, ne·o-, pol·y-, sem·i-などでは母音消失は生じない。

an·t	i	·oxidant	酸化防止剤
i·s	o	·electric	等電位の
ma·cr	o	·economics	マクロ経済学
ne·	o	·impressionism	新印象主義
pol·	y	·archy	多党政治
sem·	i	·automatic	半自動式の

[注2] **bi-, de-, re-**は [母音], [h] で始まる語根の前でもその語形を変えない。

bi·ennial	2年毎の
de·hydration	脱水
re·appear	再び現れる, 再登場する
re·habilitate	健康に戻す, 社会に復帰させる

[注3] I'm, I've; we're, we've; you're, you've; he's, she's; they're, they'veなどの短縮形やnone, doff, donなどの単語などは, 母音連続をさけることからの発生を示すよい例と言える。


I'm [aim] (⟨ I [ai] + am [am])
I've [aiv] (⟨ I [ai] + have [hæv])
none [nʌn] (⟨ no [nou] + one [wʌn])
doff [dɔf/daf] (⟨ do [du] + off [ɔf/af])
don [dɒn/dan] (⟨ do [du] + on [ɒn/an])

語中語の省略

⟨-er⟩, ⟨-or⟩ の ⟨e⟩ と ⟨o⟩ の消失

強勢のない ⟨-er, -or⟩ で終わる語根, あるいは, 単語の後に接尾辞がつくと, ⟨-r⟩ の前の ⟨e, o⟩ は消失する。

⟨◇・[母音] + -r⟩ + 接尾辞 → ⟨◇・[ø] + -r⟩ + 接尾辞



	áct	or	俳優
+		-ess	(= 女性 → n.)
<hr/>			
	act(ø)ress		n. 女優

	aviát	or	飛行士
+		-ix	(= 女性 → n.)
<hr/>			
	aviat(ø)rix		n. 女性飛行士

	áng	er	怒り
+		-y	(= ... に満ちた → a.)
<hr/>			
	ang(ø)ry		a. 怒った, 怒りの

	barómet	er	気圧計, 晴雨計
+		-ic	(= ... の → a.)
<hr/>			
	baromet(ø)ric		a. 気圧計の, 晴雨計の

[注1] 語中音消失が生じるのは、強勢のない音節である。接尾辞がついて、強勢が〈-r〉を含む音節に移行すると、この消失は生起しない。

ambássad	or	大使	→	ambassadór	ial	大使の
métaph	or	隠喩	→	metaphór	ical	隠喩の
víct	or	勝利者	→	victór	ious	勝利を得た

[注2] 強勢の移行がなくとも、消失が生起しない場合がある。これは、語根や語幹をはっきりさせておく必要からである。

bréwer	ビール醸造者	→	bréwer y	ビール醸造所
máster	熟練者	→	máster y	習熟, 熟練
mótor	モーター	→	mótor ist	自動車運転者